



2026年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社ポピンズ
代表者名 代表取締役社長グループCEO 轟 麻 衣 子
(コード番号 7358 東証スタンダード)
問合せ先 取締役専務執行役員CFO兼CCO 田 中 博 文
(TEL. 03-6625-2753)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ2026年2月13日に公表した2026年12月期の通期連結業績予想及び配当予想を、以下のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 修正の内容

2026年12月期通期連結業績予想の修正 (2026年1月1日～2026年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2026年2月13日発表)	百万円 36,700	百万円 1,920	百万円 1,880	百万円 1,200	円 銭 123.04
今回修正予想 (B)	37,300	2,400	2,380	1,550	158.69
増減額 (B - A)	600	480	500	350	
増 減 率 (%)	1.6	25.0	26.6	29.2	
(ご参考) 前期連結実績	34,409	1,840	1,812	1,142	69.85

(2) 修正の理由

当上半期における好調な業績推移を踏まえ、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益のすべてにおいて、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

売上高につきましては、主に以下の理由によるものです。

①ファミリーケア事業において、当上半期に想定を上回るペースで、力強い需要（利用者増）と供給（働き手増）の双方が実需として顕在化していること。

②エデュケア事業において、人的資本と知的資本の両面から施設運営基盤の強化が進む中、認可保育所における助成金収入増に加え、学童児童館においても各自治体による委託料の見直しが進んだこと。

営業利益および経常利益につきましては、上記売上高の増加に伴う増益効果に加え、企業主導型保育事業の消費税処理変更に伴う当社子会社の負担額について一定の見積もり（77百万円）を計上したことにより、当該費用が期初に想定していたリスク影響額を下回ったこと等が寄与いたしました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益については、2027年春の保育所閉園に伴う原状回復費用（特別損失）の一部計上を織り込むものの、営業利益および経常利益の大幅な増加がこれを吸収し、当初予想を上回る見込みとなりました。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
前 回 発 表 予 想 (2026年2月13日発表)	円 銭 －	円 銭 －	円 銭 －	円 銭 47.00	円 銭 47.00
今 回 修 正 予 想	－	－	－	54.00	54.00
当 期 実 績	－	0.00	－		
前 期 実 績 (2025年12月期)	－	0.00	－	45.00	45.00

(2) 修正の理由

期末の配当につきましては、『中期経営計画2030』における株主還元方針として、DOE（自己資本配当率）をKPIとして導入（DOE目標：当面は4.5%以上。2030年迄に6.0%を目指す）し、従来の「配当性向40%前後」との両立により、配当の予見可能性を高め、安定的かつ高い株主還元水準を実現することとしております。

当該基本方針に基づき、通期連結業績予想の上方修正および前期DOE水準（2025年12月期実績：4.9%）を勘案し、当期の期末配当予想を当初予想（47円）から7円増配し、1株あたり54円（前期実績に対して9円増配）に修正いたしました。

（注）上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上